



早川町 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・第2期総合戦略

令和3年度
▼
令和7年度

概要版

策定の背景・趣旨

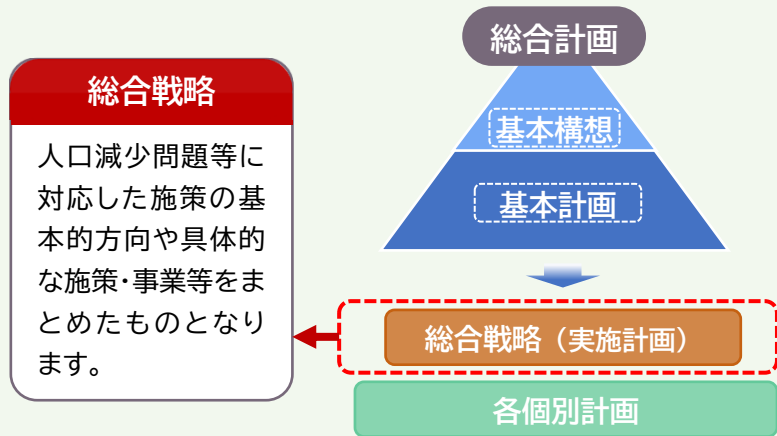
早川町においては、ピーク時の1960(昭和35)年には10,000人を超える人口でしたが、様々な要因で人口は減少の一途をたどり、現在は1,000人程度と「日本で最も人口の少ない町」となっています。

こうした中で、これからのさらなる人口減少社会に向けて現状分析・将来推計を行うとともに、その結果に基づき今後進めて行くべき施策をまとめた「早川町 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・第2期総合戦略」を策定し、町民と課題を共有しながら、新時代に向かって持続可能なまちづくり、町民の誇れる郷土づくりに努めていきます。

総合戦略の位置付け及び目標年次

総合戦略は、「第4次日本・上流文化圏構想(第7次早川町長期総合計画)」を最上位計画として整合・連携を図り策定しています。

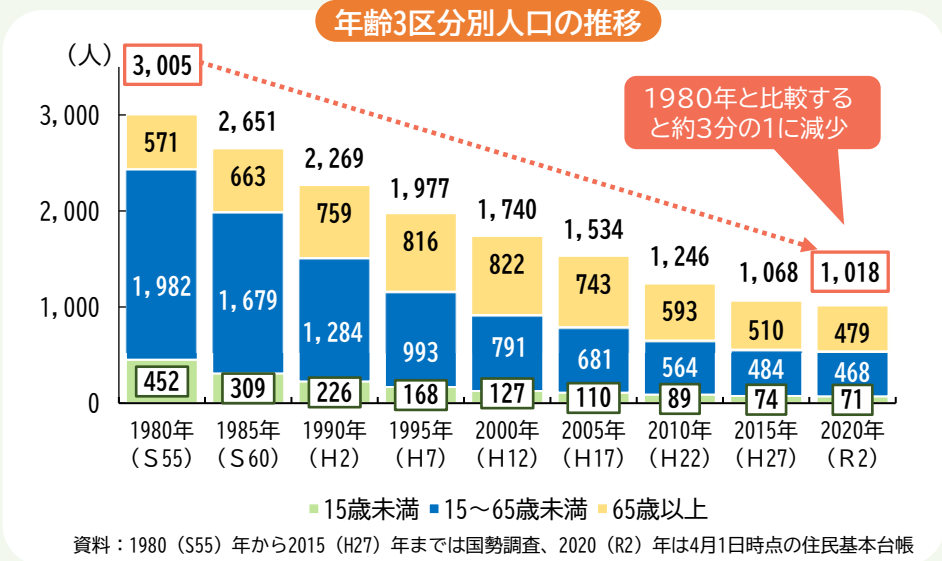
目標年次については、人口ビジョンは、国・県の人口ビジョンと同様に2060(令和42)年、総合戦略は5年後の2025(令和7)年とします。なお、人口ビジョンについては、次回総合戦略改定時に見直すものとなります。



早川町の人口の推移

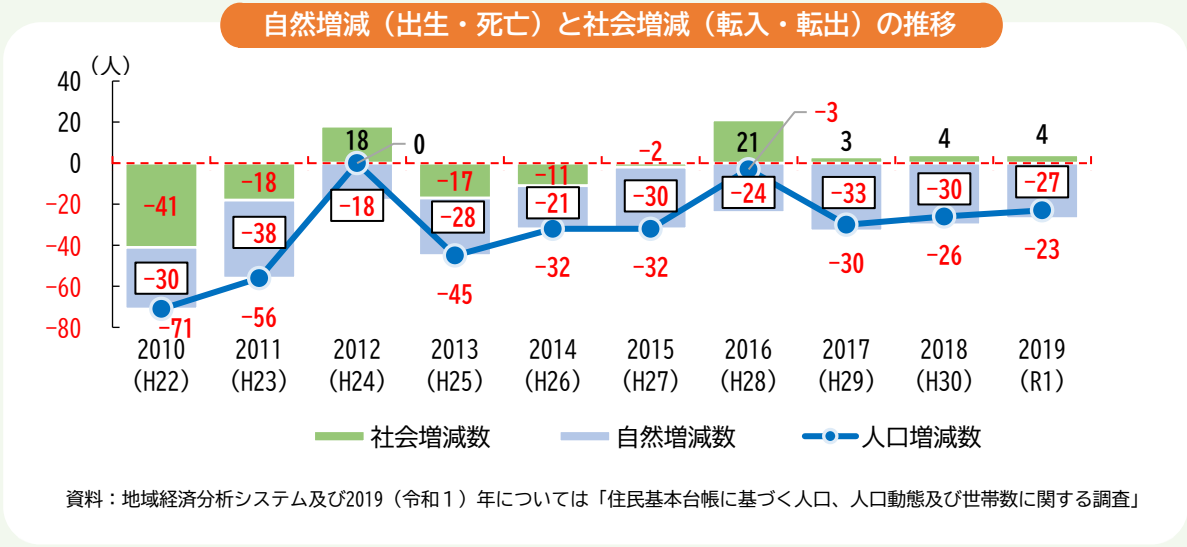
人口は、減少傾向が続いており、1980(昭和55)年には、15～65歳未満の人口が65歳以上の人口の約3.5倍ありましたが、2000(平成12)年には、65歳以上の人口が15～65歳未満の人口を上回り、以降高齢化率は48%前後で推移しています。

また、15歳未満の人口の割合は、2000(平成12)年以降、7%前後で推移しています。



人口ビジョン

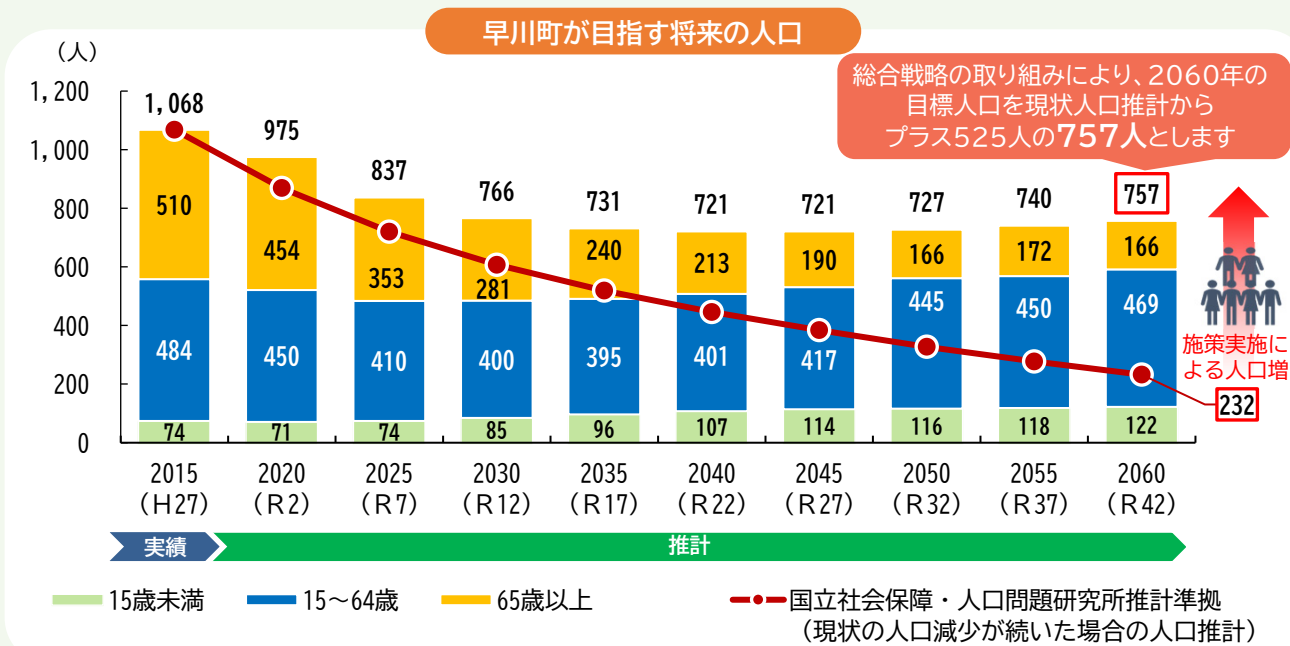
町の人口は、出生者数を死亡者数が大きく上回る状態である自然減が続いている一方で、山村留学を始めとする移住施策の推進により近年、転入者数が転出者数を上回る社会増の傾向にあります。自然減少数が社会増加数を上回る状態が続いているため人口は減少していく傾向にあります。



町においては、近年社会増減が増加している状態であり、**今後はさらに若い世代の転入を働きかけるのと同時に就職や就学による転出を抑制していくことが求められています。**また、**出生率(出生数)の上昇につながる施策を展開していくことにより、将来の年少人口・生産年齢人口・高齢者人口の各世代間のバランスの改善が期待されます。**

早川町では、第4次日本・上流文化圏構想(第7次早川町長期総合計画)において示された将来像である「**みんながつながり、山の暮らしを守り伝えるまち**」

の実現と人口減少問題に対する課題解決に向けて今後取り組むべき施策を整理した「**総合戦略**」を策定し、2060(令和42)年の目標人口757人を目指し取り組んでいきます。



総合戦略

本町の人口減少を食い止めるために重点的に取り組むべき課題である、『早川町で生まれ育った「早川っこ」が住み続けられる環境をつくる』と『早川町に魅力を感じ、関わり、住んでみたくなる若者を増やす』に取り組んでいくため、本戦略の重点目標を「若者をひきつけ、住み続けられるまちづくり」として具体的な施策を展開していきます。



施策体系

5つの基本目標とその基本目標全てに関連する横断的な取り組みにより事業を展開していきます。

ミッション
(重点目標)

若者をひきつけ、住み続けられるまちづくり

横断的な取組

新しい時代の流れ(Society5.0、SDGsなど)と社会情勢の変化を取り込んだまちづくり

基本目標 1 移住者や地域の若者を受け止めて支える、魅力的で力強い産業の創出

〈数値目標〉	現状値(2020年)	目標値(2025年)
早川町商工会の商工業者会員数	会員数67	会員数74
早川町商工会の商工業者会員の従業者数	従業者数345	従業者数380
基本的方向性	具体的な施策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 農林業の主体となりうる組織団体の育成・強化 ● 地域資源を生かし、地域課題を逆手に取った特産品開発及び産業育成 ● 観光業を活性化し、関連事業の雇用者を増加 ● 起業に挑戦したい人を町全体でサポートし、活動を促進 ● 町内の求人雇用を結びつけるための支援及び情報発信 	<p>(1) 農林業の再生及び特産品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業生産に携わる組織の支援・育成 ② 特産品開発とブラッシュアップ <p>(2) 新産業の創出、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サテライトオフィスの誘致やワーケーションの促進 ② 雨畑ブラックシリカの有効活用と産業化 ③ 起業促進及びサポート ④ 地域おこし協力隊の受け入れ <p>(3) 地域産業の担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 担い手確保の仕組みづくり 	

基本目標 2 追い風を受け止め、力にした早川への人の流れの促進

〈数値目標〉	現状値(2020年)	目標値(2025年)
観光入り込み客数	130,000人	160,000人
子育て世代の移住者	9名/年	9.6名/年(5年間累計48名)
基本的方向性	具体的な施策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 早川の魅力をPRする情報発信力の強化 ● 地域資源を生かした観光業の活性化 ● 山村留学等を通じた子育て世代の移住促進 ● ふるさと納税を活用した交流人口の増加 ● 早川の人々と多様に関わる関係人口の増加 	<p>(1) 観光立町の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 観光推進体制の強化 ② 中長期的な観光戦略の策定 ③ 南アルプスユネスコエコパークと連動した山岳観光の推進 ④ 品川区との交流の強化 ⑤ 町営観光施設の経営状況の点検と再整備 <p>(2) 山村留学を軸とした子育て世代の流入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 受け入れの体制づくり ② 山村留学の受け皿となる町有住宅の整備 <p>(3) ふるさと納税の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ふるさと納税の推進 	

基本目標 3 若者が子育ての希望をかなえる安心の地域社会の構築

〈数値目標〉	現状値(2020年)	目標値(2025年)
地元出身者の地元定着率	16.7%	25%
移住者の定着率	70.3%	75%
基本的方向性	具体的な施策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が快適に居住できるように住宅の新築、または空き家を確保し有効活用する ● 集落維持、景観づくりの観点から多くの若者が集落内の空き家を改修し居住してもらう仕組みの構築 ● 子育て家庭の経済的負担を軽減 ● 義務教育後の支援を充実させ、山村留学生等が早川に残れる環境を促進 ● 町内事業所と連携し、子どもを産み育てやすい環境をつくり、出生数の増加につなげる ● 結婚を望む一人ひとりの希望が叶う社会の実現 	(1) 住宅の確保、整備 ① 空き家対策室の設置 (2) 教育にかかる経済的負担の軽減 ① 保育に関する経済的負担の軽減 ② 義務教育費無償化の継続 ③ 高校生の経済的負担軽減と通学環境の整備 (3) 子育て世帯が働きやすい環境の整備 ① 安心して働ける環境づくり (4) 出会いから結婚までの支援 ① 結婚支援事業	

基本目標 4 志を育む人材育成と夢にチャレンジできる環境づくり

〈数値目標〉	現状値(2020年)	目標値(2025年)
町民アンケート調査で早川町に「誇り・愛着」を持っていると回答した人の割合	73.4%	80%
基本的方向性	具体的な施策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所、小学校及び学校外において自然体験や地域体験に重点を置いた教育内容を充実させ、郷土愛を育む ● 中高生がまちづくりに係わる機会をつくり、まちへの興味と関心を育む ● 若者の手本となるように町の中核を担う人材が誇り、やりがいを持って地域に貢献できるよう育成・支援をおこなう ● 誰もが個性を活かし、活躍できる地域社会の実現を目指す 	(1) 地域を活かした早川教育の充実 ① 保育所における自然体験活動の充実 ② 小中学校における特色のある教育の実施 ③ 学校外での自然体験、地域体験の場づくり (2) まちづくりを担う人材育成 ① 役場及び公共的な役割を担う組織の人材育成	

基本目標 5 安心な暮らしを守るとともに、時代にあった地域づくりの推進

〈数値目標〉	現状値(2020年)	目標値(2025年)
町民アンケート調査で早川町に「住みやすい」と感じる町民の割合	68.6%	70%
基本的方向性	具体的な施策	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人生100年時代を見据えた長寿社会の形成 ● 連携と協働によるまちづくり ● 他自治体及び地域づくりを担う組織や企業との連携 ● 安全で安心して暮らせる地域社会の実現 	(1) 成熟した長寿社会の形成 ① いきいきと健康で過ごせる地域社会の推進 (2) 地域公共交通の確保 ① 地域公共交通の維持 (3) 安全な道路網の確保 ① 安全な道路網(町道・林道等)の整備等 (4) 災害等に備えた体制整備 ① 生命・財産を守る防災体制の充実	



「上流文化圏構想」…川の上流域に位置する早川町の、豊かな山々に囲まれ育まれてきた自然や文化を見直し受け継ぎながら、地域づくりを進めていく考え方で、早川町が未来へ進んでいくための構想

* 総合戦略は、別途策定した総合計画における実施計画部分に相当する構成となっています。